

椿キッズ

令和6年1月23日

第29号

We are Tsubaki-kids.

大縄集会に向けて

体育委員主催の大縄集会が、1月31日(水)に実施されることになりました。集会に向けて、大縄を跳ぶ練習が始まりました。休み時間になると、子どもたちが、クラスの仲間や縦割り班の仲間と練習している様子が、運動場のあちらこちらで見られるようになりました。

大縄跳びは、大縄が一本あれば誰でも気軽に参加でき、チームで励まし合ったり、教え合ったりしながら、みんなで伸びていくのが実感できる、教育効果の高い取組です。また、その場の状況や個人に合わせて、回し方を変えたりルールを少し変更したりして、目的や集団構成に応じてアレンジできることも大きな特長です。みんなで協力しながら、あまり勝ち負けにこだわらないように気を付け、チームで成績(跳んだ回数)を伸ばしていくことを目標にしてほしいです。上手に跳べる子にとっても苦手な子にとっても、楽しい活動になるように工夫し、仲間との温かいつながりができる取組になることを期待しています。



【1月16日 わくわくタイムで大縄練習】

3年生 昔の暮らしの出前授業

1月19日(金)、「三重県地球温暖化防止活動推進委員」の落合先生、吉田先生、六田先生に来ていただき、3年生が「昔の暮らし」について教えていただきました。

3年生の社会科には、昔と今の生活道具を比べながら、暮らしの移り変わりをたどり、便利さや豊かさや環境との関係について学んでいく学習があります。今回の授業では、昔、暮らしの中で実際に使われていた道具をたくさん展示して説明していただきました。子どもたちが学ぶ資料は、教科書に写真や絵、文章でも表されていますが、実物は迫力が違います。珍しい道具を目の前にして、子どもたちは目を輝かせて説明に耳を傾けていました。その後、子どもたちは道具に触らせてもらいながら、昔の道具についての理解を深めていきました。



<裏面へ続く>





この日の学習のもう一つのテーマになっていたのが、「エネルギー」でした。今の便利な道具は、ほとんど電気、ガス、石油などのエネルギーを使って動かしていますが、昔の道具は、主に人や動物、薪、水の力に由来するエネルギーを使っていました。

子どもたちは学びを進めていくうちに、昔の道具の方が環境にやさしいことや、持続可能なエネルギーを使っていることに気づき、昔の道具の良さを感じることができたようでした。

6年生 庄内小学校との交流会

<地域交流行事>



1月12日(火)、庄内小学校体育館で、庄内小学校と椿小学校の6年生が交流会に参加させていただきました。

庄内地区と椿地区のまちづくり協議会の皆さんが、6年生が中学校へ進学した際、仲間づくりがスムーズにできるようと、この交流会を企画してくださいました。

自己紹介の後、くじ引きでグループ分けをしてもらい、両校混合のチームで、謎解き(なぞとき)ゲームに挑戦しました。最初は緊張気味だった子どもたちも、一緒に問題を考えることで少しずつ打ち解け、笑顔がみられるようになっていきました。



謎解きゲームが終わったあとは、庄内小の低学年の子たちが収穫し地区市民センターで調理してもらった焼き芋と、ジュースをいただきました。グループで輪になって食べていると会話もはずみ、両校の6年生は、すっかり仲良しになっていました。最後には、お互いに声を掛け合ったり、手を振ったりして、別れを惜しむ様子も見られました。中学校で両校の6年生が再会したとき、この体験をきっかけとして、さらにつながりを深めてくれたらうれしいです。お世話をいただいた関係者の皆様、本当にありがとうございました。

大雪の日の登校について

昨年は、ちょうどこの時期に、近年にない大雪が降りました。積雪が40～50cmにもなる中、保護者の皆様や地域の方に付き添っていただいたり、手厚く守っていただいたりしての登下校になりました。場所によっては、道路全体が雪に埋もれ、車道・歩道・縁石・側溝の見分けががつかず、大変危険な状況もあったそうで、今年も大雪の日の登下校が心配されるところです。

台風・大雪の日などの登下校につきましては、1学期に文書を配付させていただきましたが、再度確認していただくため、昨日、改めて文書を配付させていただきました。よろしくお願いたします。